

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	ケアコミュニティ(株)	代表者	松野修典	法人・事業所の特徴	亀岡清泉荘は開設より5年目がたち、少しずつ地域の方々との交流が深まっています。利用者さまは曾我部町にお住いの方が多く、昔からの顔なじみ同士で昔話に花が咲き楽しそうにお過ごしでいらっしゃいます。スタッフは親しみの中にも丁寧な態度や言葉使いで接するように心がけています。さまざまなボランティアさんが毎月来て下さり歌や踊りなど楽しいひと時も多く、また地域の催しにも積極的に参加しています
事業所名	亀岡清泉荘	管理者	松野修典		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	4人	人	1人	1人	人	3人	人	10人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			スタッフ全員が参加し意見を反映し次年度の目標を設定している様子がうかがえた。 今回は、事業所自己評価と地域かわりシートの書類配布だけでなく、管理者等より口頭での説明を受けながら確認できたので、意見交換がスムーズに進んだ。	
B. 事業所のしつらえ・環境	新たな防犯カメラの設置を検討している	防犯カメラは京都府の補助事業に計画書を提出している補助事業の事務が進んでいないが、ホームの外側と内側に2か所ずつ設置する計画を立てている。	少ない予算でも効果が期待できるセンサーライトの設置も検討することも妥当と考えられる。	防犯カメラの設置に向け補助事業の事務を進める。代替案としてのセンサーライト等の設置も含めて情報収集し検討する。
C. 事業所と地域のかかわり	地域で開催されているサロンに出向きまずは顔なじみの関係を作る。催しものなどに来て頂けるよう声掛けさせていただく	ホームのイベントには老人クラブ、ボランティアグループなど多数の参加を頂いている。 また、曾我部小学校との交流会も毎年行っており定例化している。 地域のサロンへの出向きはできなかったため、次年度の改善計画の課題としていきたい。		曾我部町のサロン（いこいの家）、曾我部町地区社会福祉協議会等への情報発信を行い、交流機会をつくる。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			地域を事業所のある曾我部町南条区から、曾我部町、亀岡市南部エリア、亀岡市といった範囲の中で、どのように位置づけ課題を設定するか、それぞれの課題に応じ	

			て地域の範囲を検討することが必要である。	
E. 運営推進会議を活かした取り組み	今までの事例をお伝えすることで、小規模多機能がどのような役割を果たしているのか地域の方にお伝えする	各回の運営推進会議にて、小規模多機能の利用者の方の事例紹介を行った。(11月以降は、管理者が交代したことにより。個別ケースの紹介は十分できなかった)	さらに個別事例からでてくる地域課題などについて協議していくことも必要と考えられる。地域での取組みに一緒に取組むという点について、おまつりなどを通じて交流機会をつくることも効果があると思われる。	事例紹介を個別のケース、共通する対応ケース、困難事例など幅広く地域のニーズとして捉えられるように情報提供する。
F. 事業所の 防災・災害対策	防災計画を作成し、年2回の避難訓練を充実させ、地域の防災訓練にも積極的に参加する	防災計画は風水害、火災に対応した計画を作成している。年2回の防災訓練にも職員が積極的に参加している。	防災計画のダイジェスト版を作成して職員に配布、もしくは閲覧できるようにすることも有効である。 グループホームの防災訓練、特に夜間帯の訓練など地域を巻き込んだかたちで、近い人の参加や向かいのコンビニとの連携、助っ人の参加など検討してはどうか。	地域の消防団との交流機会をつくり、防災訓練等に参加する。